

事業所名

児童発達支援事業所 フラミンゴ

支援プログラム

作成日

令和7年

7月

30日

法人（事業所）理念		子どもの可能性を最大限に引き出す支援、その子らしく育つことを尊重した関わりをする。							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの「強み」と「困りごと」を把握し、発達を包括的に支援します。 本人主体の支援、肯定的な声かけと成功体験の積み重ねによる自尊感情の育成に取り組めます。 							
営業時間		8時	30分	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得を支援します。 視覚的に1日の生活に見通しがつくような環境設定を行い、安心して過ごせるように支援します。 食事、排泄、着脱等の生活習慣を身につける時間を設定し、個人のペースに合わせてスモールステップで取り組めるよう支援します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 園庭や芝生の戸外で体を動かし、発散できる活動を設定します。 ホールでトランポリンや飛び石等を用いた活動を行い、運動機能の向上を図ります。 作業療法士による感覚統合療法を行います。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚のどの部分からの認知が得意かを知り、個々に応じた支援を提供します。 指示やルールなどをイラストや写真などで視覚的に示し、適切な行動を知る支援の提供をします。 個別課題を通して、色や形の理解、物と名称の理解を促します。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚士による言語評価を行い、個々の子どもの発達段階に合わせた発語の促進や絵カード等を利用したコミュニケーション支援を個別に行います。 保育士による個別療育を通して相手への要求の方法を知り、適切に困りごとを他者に伝えられるよう支援します。 言葉だけの表出に限らず、自分の意思をジェスチャーなど何らかの方法で表出できる環境の設定をします。 季節の歌やお名前呼びを通して言語理解を促します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での小集団の活動やこども園園児との関わりを通して、物の貸し借りや順番を待つ等他者と適切に関われるよう支援します。 自分の気持ちと他者の気持ちの個性に合わせて理解ができるよう支援します。 好きなことや興味のあること、できたことに共感的に関わることで、スタッフに対する安心感の持てるような関わりをします。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 片道20分圏内の自宅、利用園への車送迎を行います。 月1回の親子通園時に面談を行い、支援状況の共有をします。 保護者座談会を開催し、保護者同士の繋がりを持つ機会を提供します。 心理士による相談会を行います。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 提携園の同年代園児と関わる機会を設定します。 就園、就学先と必要に応じて連携をとります。 利用中の園と連携をとり、支援の統一化を図ります。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 様々な関係機関と連携を取り、情報共有を行います。 災害時などは提携園や近隣施設と連携を取ります。 園主催の行事に体験参加ができるように計画します。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 採用時には児童発達支援ガイドラインに沿った研修を行います。 虐待防止、感染症対策、事故防止などの研修を受講します。 専門職による勉強会へ参加します。 年に一回一次救命処置の研修へ参加します。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> こども園主催の地域向け夏祭りへの参加 こども園季節行事への体験参加 食育活動 ・水遊び ・社会体験 							